

とうきょうすくわくプログラム

東京都港区南青山3-1-30
パソナファミリー保育園

テーマは 感触(砂)

公園での砂場遊びに夢中な子どもたちの様子を見て、園内に砂場を設置して遊びの広がりや継続を見たいと思いました。砂の感触などの感覚的な遊びに加えて、創造力や友達との関わりから生まれる協調性など、様々な観点から子どもたちの探求心を育てていきたいと思いこのテーマを設定しました。

活動スケジュール

2025年12月25日	3・4歳児	初めて園内の砂場で遊ぶ
2026年1月9日	0歳児	砂の感触を知る（室内）
1月16日	0歳児	初めての砂場遊び
1月14日	1・2歳児	砂を使って遊んでみよう
2月20日	1・2歳児	乾いた砂と湿った砂を触って違いを感じる
3月6日	全クラス	友達と一緒に砂遊びを試みる

活動の準備

園庭に手作りの砂場を設置しました！
バケツ・シャベル・じょうろなどお砂場道具を増やしました。

活動の内容

0歳児:砂の感触や砂場に慣れる。道具に触れる。保育士と共に砂遊びをする。

1・2歳児:砂に触れて遊ぶ。雨上がりの砂場で乾いている部分と濡れている部分を発見し触る。感触、形状の違いを感じながらそれぞれの遊び方で楽しむ。

幼児:砂に触れ、すくったり握ったりと感触を確かめる。自由に砂で作りたいものを作って遊ぶ。友達と協力したりイメージを共有する。道具を使ってダイナミックな遊びをする。

活動の様子

ももぐみ(0歳児)

室内では砂の感触を楽しんでいましたが、砂場に出ると圧倒されて保育士にべったり...外側からそっと砂に触れていました。砂場道具を出すと興味を持ち遊びはじめました！



触ったりバラバラしたり...

外では保育士にべったり



道具を使って遊びはじめました

たんぽぽ・ちゅういっぶぐみ(1・2歳児)

砂が乾いている部分を見つけて触ると「サラサラ!」、湿っている部分は固められることがわかり叩いてみたり、形状の違いに気づいていました。好みの砂でそれぞれ楽しみました。型抜きをしたり、お団子づくりに挑戦したり...形に注目する様子もありました。

ここにも白いサラサラがあった!



濡れてる砂で穴が掘りたいな



すみれ・ゆい・ひまわり(3・4・5歳児)

あえて道具を準備せずに遊んでみると、手を使って上手に形を作っていました。山づくりから偶然斜面が出来、道路づくりへ。山を作っていた子と道をつなげて合作として遊びが広がりました。もっと大きな山を作りたい!という声から次の回は道具を使用。よりダイナミックな遊び方と子どもたちの中での役割分担が見られました。

私はお山♪



カーブにしてここは駐車場! うーん車が欲しいなあ



僕がバケツで砂を運ぶから固めてね

穴を掘ってみようかな



気づいたことと今後の活動

【0歳児】

砂の感触は嫌ではなかったのですが、広い砂場という環境に慣れない様子がありました。保育士との関わりから少しずつ遊びだすことが出来ていたので、経験を増やしていきたいと思います。また、他クラスの遊びを見ることで遊び方が変わるのでは...と思うので、今後は合同保育での砂遊びもしていこうと考えています。

【1・2歳児】

砂に触れることが好きでとても積極的！自然とできていた砂の形状（乾いている・湿っている）の違いに気づく様子がありました。形状が違くと触れ方や遊び方が違うこともわかりました。次回、乾いた砂に水を撒いて色や形状が変化していく様子から見せていくことで、どのようなことに子ども達が気づき遊びにつなげるのかを見ていきたいと思っています。

【幼児】

それぞれに好きな遊びをしながらも、周りを見てイメージを共有したり、関わりながら遊びを進めていく様子がありました。道具を使わず手で触れ作るとは、感触遊びと共に細かい部分を作り込むことにもつながっていたように思います。よりイメージを膨らませて砂場全体に世界観が生まれるよう、子どもの声を聴きながら2回目は道具を使用して遊びました。たくさんの砂を使うことでより大きな山づくりをしたり、それを桜島に見立てる会話が生まれたり、役割分担をするようなやり取りもあり、広がりが見られました。また、大きく作った山は崩さずにそのままにして、次回の遊びにつなげています。道路・山を作り、次は子どもの発想からどんな物が生まれるのか、やり取りの様子を見守りながら楽しみに見ていきたいと思っています。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん